

# H29年度 愛臨技 血液検査研究班

## 講演会アンケート

日時：平成29年8月19日（土）15:00～17:00

場所：名古屋大学医学部 第I講義室

テーマ：新生児期から小児期特有の病態と検査について

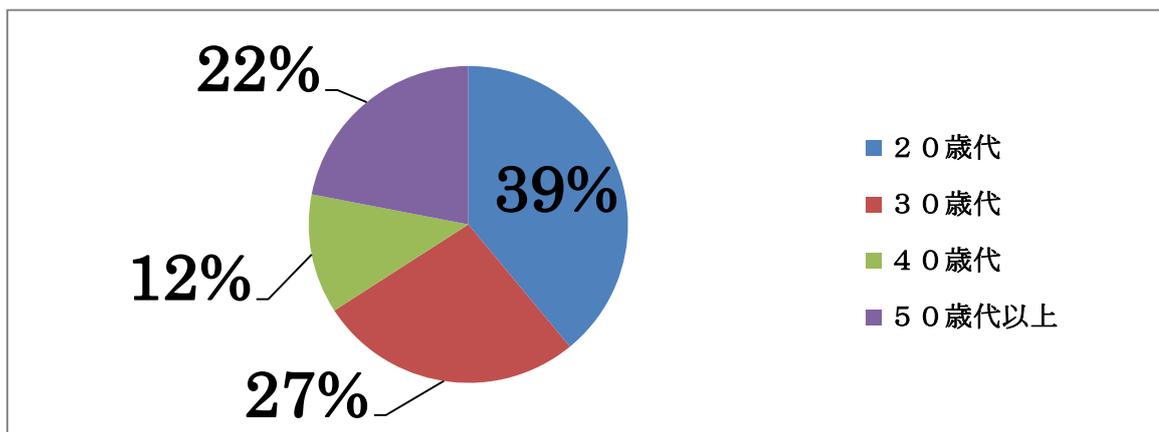
講演1：安城更生病院内におけるNICU専任技師としての役割

講演2：NICUにおける医療の実際と関連する血液検査データの見方

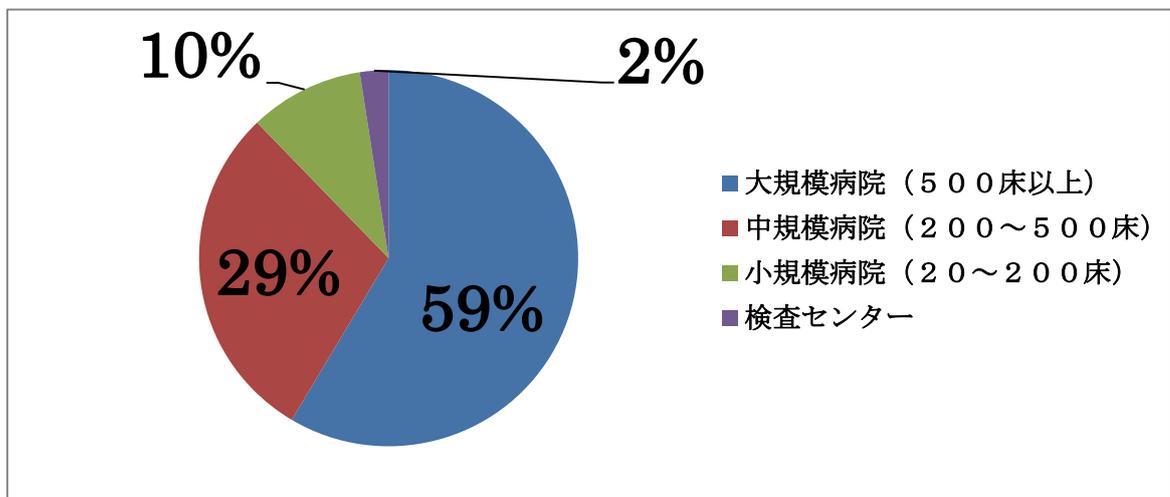
講演3：小児骨髄不全症の形態診断

アンケート回収率：65.0%（42/65枚）

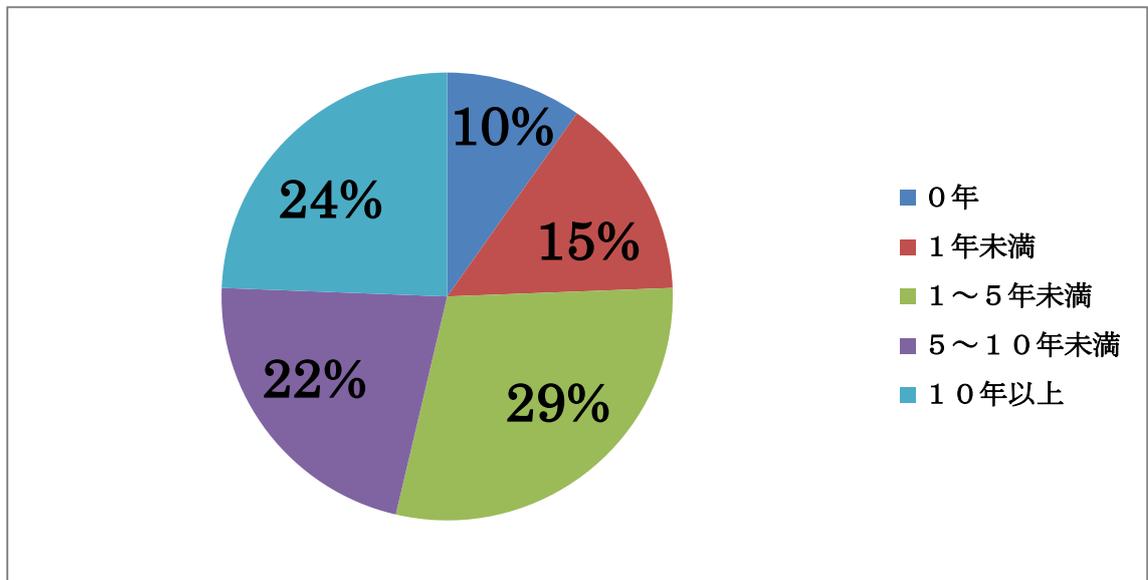
### 1.参加者の年齢を教えてください



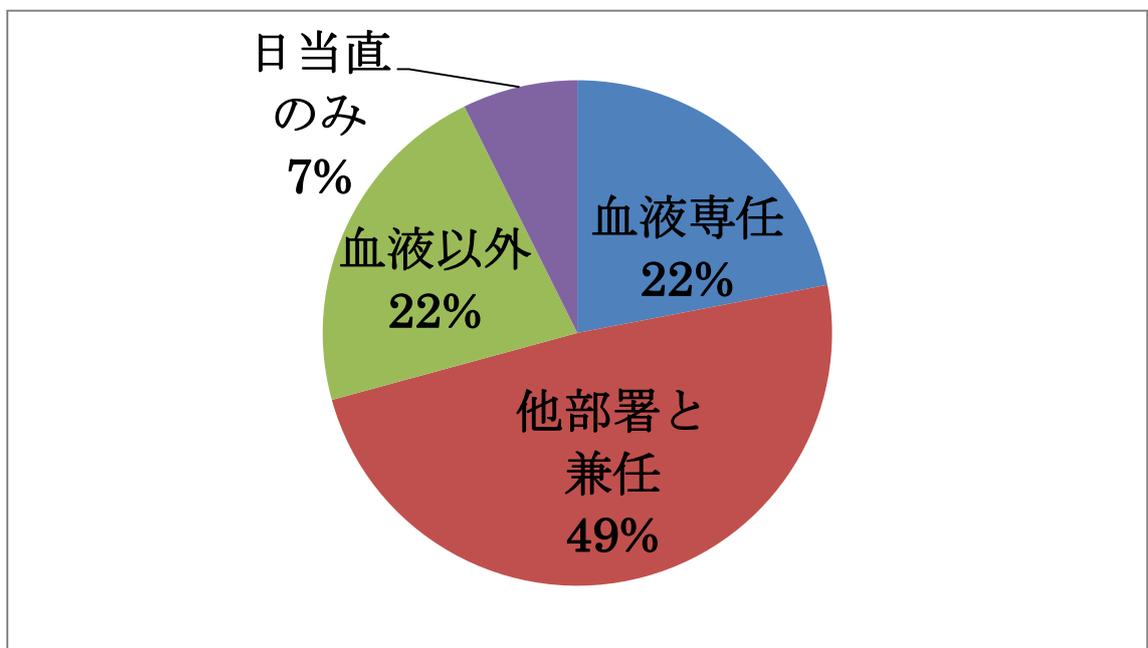
### 2.勤務先の規模を教えてください



### 3.血液検査に携わってどれぐらいですか

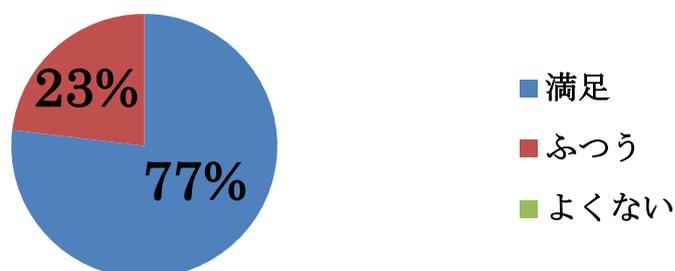


### 4.現在の所属を教えてください



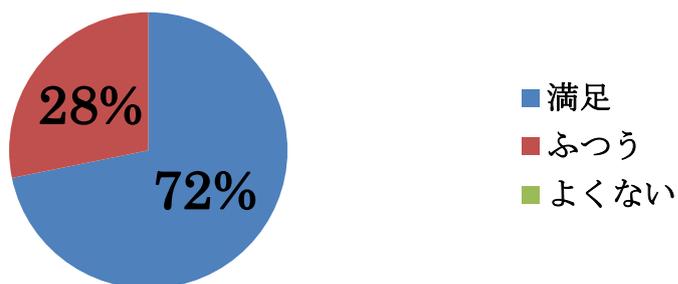
## 5.本日の研究会はどうでしたか

### 講演1



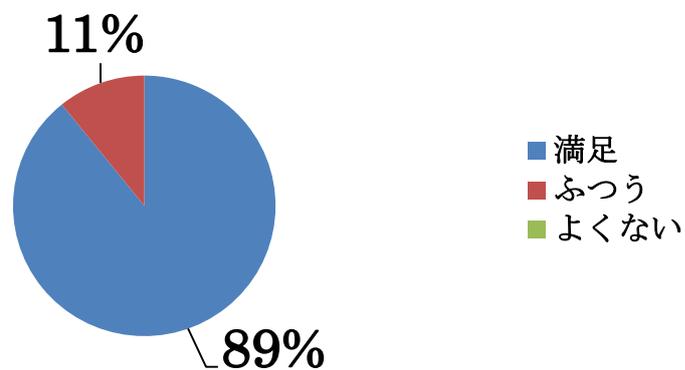
- \* 技師サイドの話が聞いてよかった。
- \* 臨床検査技師にしかできない病棟への貢献の好事例を知ることができました。
- 臨床貢献の在り方の選択肢広げることができました。

### 講演2



- \* 医師サイドの話しが聞いてよかった。
- \* ラボデータの解釈についてもっと詳しく聞きたかった。
- \* 新生児データの特徴を知りたかったのがよかった。採血の実際の動画を見ることができ大変さを知ることができました。

### 講演3



- \*見たことのない症例多数聞いた。
- \*知らないことばかりでとてもためになった。
- \*実際の症例が多く、まためずらしい症例も多くわかりやすいお話で非常に勉強になりました。
- \*たくさんの、珍しい症例がみれた。
- \*多くの症例の血液像写真が示されていた。
- \*実際の症例が多く、まためずらしい症例も多くわかりやすいお話で非常に勉強になりました。
- \*難しかった。
- \*難しかった、現在血液から外れているがポイントを知ることができた。

## 6.今後参加してみたいまたは、企画して欲しい内容

- ◇ 血小板凝集能検査について
- ◇ 実際のマルク採取から染色、鏡検、診断まで
- ◇ 凝固線溶検査の精度に関すること。検体のコンディションの影響による結果の不確かさを是正したい
- ◇ マルクの実習形式の鏡検
- ◇ 血液像の見方・血液疾患の基礎講座
- ◇ 末梢血液像の鏡検
- ◇ 症例等を含めた報告会
- ◇ 血液像（末血や骨髄）の基礎的な細胞と疾患について
- ◇ 多血の勉強会
- ◇ フローサイト、染色体について
- ◇ 小児凝固
- ◇ 基礎的な形態の区別と見方
- ◇ 骨髄像の読み方の基礎
- ◇ マルクの基礎知識（検体採取から像の見方）